



## サウジアラビアとの交流授業



6月、以前から刀根山支援学校と交流のある、北海道大学病院の院内学級(札幌市立幌北小学校ひまわり分校、札幌市立北辰中学校ひまわり分校)の児童生徒さんと一緒に、サウジアラビアにあるキングサウド大学とを会議システムでつないで国際理解学習の機会をもつことができました。キングサウド大学では日本語を学んでる学生さんが参加してくださり、サウジアラビアについていろいろと紹介をしてくださいました。

サウジアラビアとの時差は6時間、日本では午後の授業を利用しての参加でしたがサウジアラビアはまだ朝の7時、それにも関わらず現地の気温は40℃超えとのことで気候の違いにまぶびっくりしました。中学生は世界の気候を学んでいたこともあり、チリの学習で学んだ砂漠気候を思い返している生徒もいました。

交流授業ではサウジアラビアの位置や現地の様子を写真を交えて紹介してもらいました。

国土の大部分を占める砂漠の様子や人々の衣装、特にメッカにあるイスラム教の聖地でもあるカーバ神殿などは社会の授業で見たことがある生徒もいました。また、新型コロナウイルス感染症が流行し、距離を取りながら巡礼をしている様子などは現地からのリアルタイムな情報でした。



また、サウジアラビアで使用されているアラビア語の紹介では現地の数の読み方をクイズ形式で教わりました。現地の道路標識や日本でも販売している飲料の缶の表記などを参考に、使用されている文字の雰囲気や文字の並びなどを教えてもらいました。数字の紹介に関しては、英語などと違って普段接する機会がほとんどないアラビア語の読み方に四苦八苦する様子が見られましたが、発声の仕方などに新鮮味を感じ、刀根山支援学校の児童生徒たちも熱心にクイズに取り組んでいました。

児童生徒の中には、授業後にサウジアラビアに興味を持って、独自に風習を調べてみた

1 2 3 4 5 6 7 8

١ ٢ ٣ ٤ ٥ ٦ ٧ ٨

り、アラビア語の表現で発声すると別の日本語に聞こえる言葉を調べてみたりと、普段あまり接する機会の無い国の文化や風習を理解するのにとてもよい刺激になったのではないかと思います。

